



泗水小だより



泗水小学校
学校だより No35
文責 芹川博文
1月26日(金)

学校教育目標「自ら考え なかまと高め合う 泗水小」

「野球しようぜ」に込められた思い

～ スポーツ委員会を中心に臨時集会でグローブのお披露目 ～



ついに泗水小にも届きました。早速、臨時の泗水っ子集会を開き、スポーツ委員会の進行で「お披露目」しました。特別ゲスト(?)の登場や、

「WBC 日本代表の大谷です。今日は、泗水小のみんなのために、グローブを持ってきました。みんな、あこがれるのはやめましょう。野球しようぜ！」



ロサンジェルス・エンゼルス・アナハイムのメジャーリーガー、大谷翔平です。

この手紙は、このたび私が、学校に通う子どもたちが野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムをご紹介しますためのものです。

この3つの野球グローブは学校への寄付となります。それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。

この機会に、グローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。

貴校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

野球しようぜ。

大谷翔平

6年生児童によるグローブをつけたキャッチボールの実演がありました。「特別ゲスト」のアナウンスに一瞬期待が高まった後、登場と同時にどよめきと苦笑いになる落差。キャッチボールの実演には「上手!」「速い!」の声など、わずか5分間ほどの集会でしたが、体育館に笑顔と温かい「空気」が広がりました。

野球にとどまらず、夢を追いかけてほしいとの思いが詰まった3個のグローブ。まずは1日交替で各学級に回す予定です。たくさん触れたり使ったりしながら何年も大切にしたいと願います。



「なんか 違う町みたい」

～ 1月24日(水) 雪の世界を満喫 ～

「なんか、違う町みたい。」 登校中の1年生の言葉に心の高揚感が伝わってきました。

道路事情を心配して1時間遅らせましたが、朝から学校は大賑わい。雪だるまをつくる子、雪合戦をする子、サッカーをする子など、職員も交じっての楽しい時間となりました。私も久しぶりに雪合戦をしました。

熊本では珍しい雪。寒さを物ともせず外に飛び出す子どもの姿に感動するとともに、能登半島に降る雪のことも想像しました。



低学年から「新しい風」

～ 2年生のあいさつの変化を全校へ～

先週あたりから、2年生のあいさつに変化が見られ、新しい「風」を感じています。中には、自分たちで考えて朝のボランティア活動を始めた学級もあります。彼らの思いと行動を、全校に広げてほしいと願います。みんなで、あいさつの花咲く泗水小を目指していきます。



「おいしゅうなあれ」

～ 3年生が学校米でおはぎづくり ～

民生委員さんや地域の方のご指導のもと、おいしいおはぎが出来上がりました。

子どもの頃、母親が農作業の合間に作ったおはぎを思い出しました。

